

# 調査結果の概要

## 1 令和4年の概況

～ 生産・出荷・在庫指数の全てが前年より上昇 ～

- 鉱工業指数は、生産・出荷・在庫ともに前年を上回った〔生産97.5（前年比5.0%上昇）、出荷96.7（前年比4.5%上昇）、在庫93.5（前年比8.2%上昇）〕。

～四半期別（季節調整済指数）でみると～

- 生産指数は、令和4年Ⅰ期からⅢ期は前期を上回ったが、Ⅳ期は前期を下回った。
- 出荷指数は、令和4年Ⅰ期とⅢ期は前期を上回り、Ⅱ期とⅣ期は前期を下回った。
- 在庫指数は、令和4年Ⅰ期は前期を下回ったが、Ⅱ期からⅣ期は前期を上回った。

### (1) 生産

- ・ 生産指数は、97.5(前年比 5.0%上昇)。2年連続で前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、電子部品・デバイス工業、一般機械工業（総合）、輸送機械工業など10業種で上昇し、鉄鋼業、化学工業、プラスチック製品工業など8業種で低下した(図2)。

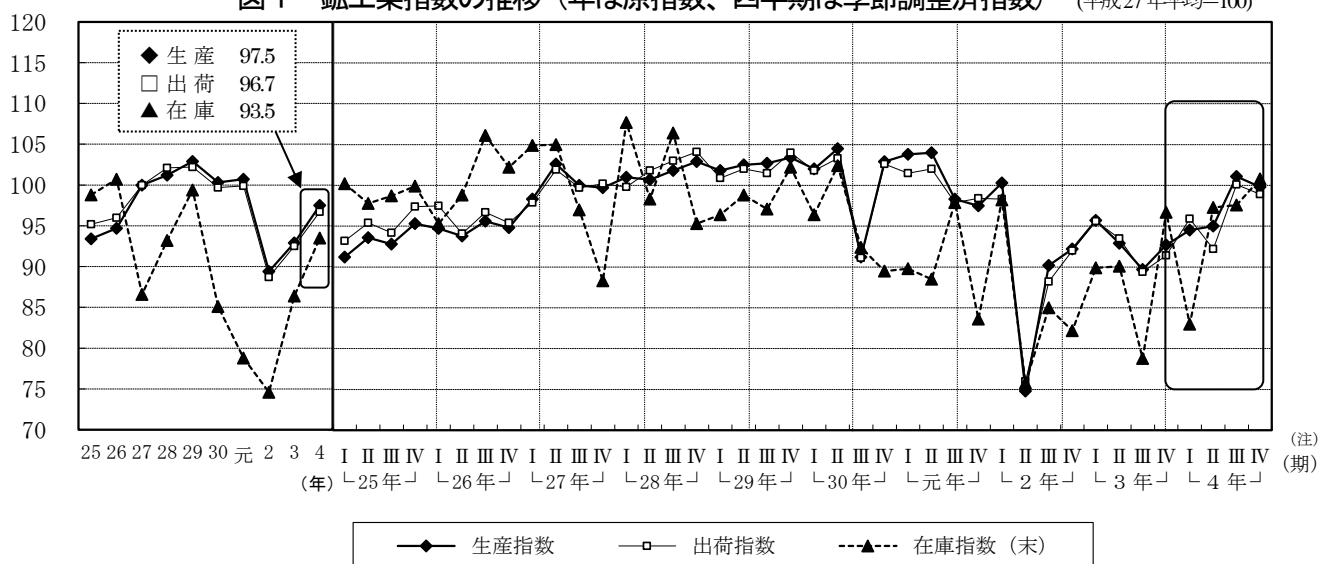
### (2) 出荷

- ・ 出荷指数は、96.7(前年比 4.5%上昇)。2年連続で前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、電子部品・デバイス工業、一般機械工業（総合）、輸送機械工業など9業種で上昇し、鉄鋼業、化学工業、非鉄金属工業など9業種で低下した。

### (3) 在庫（期末）

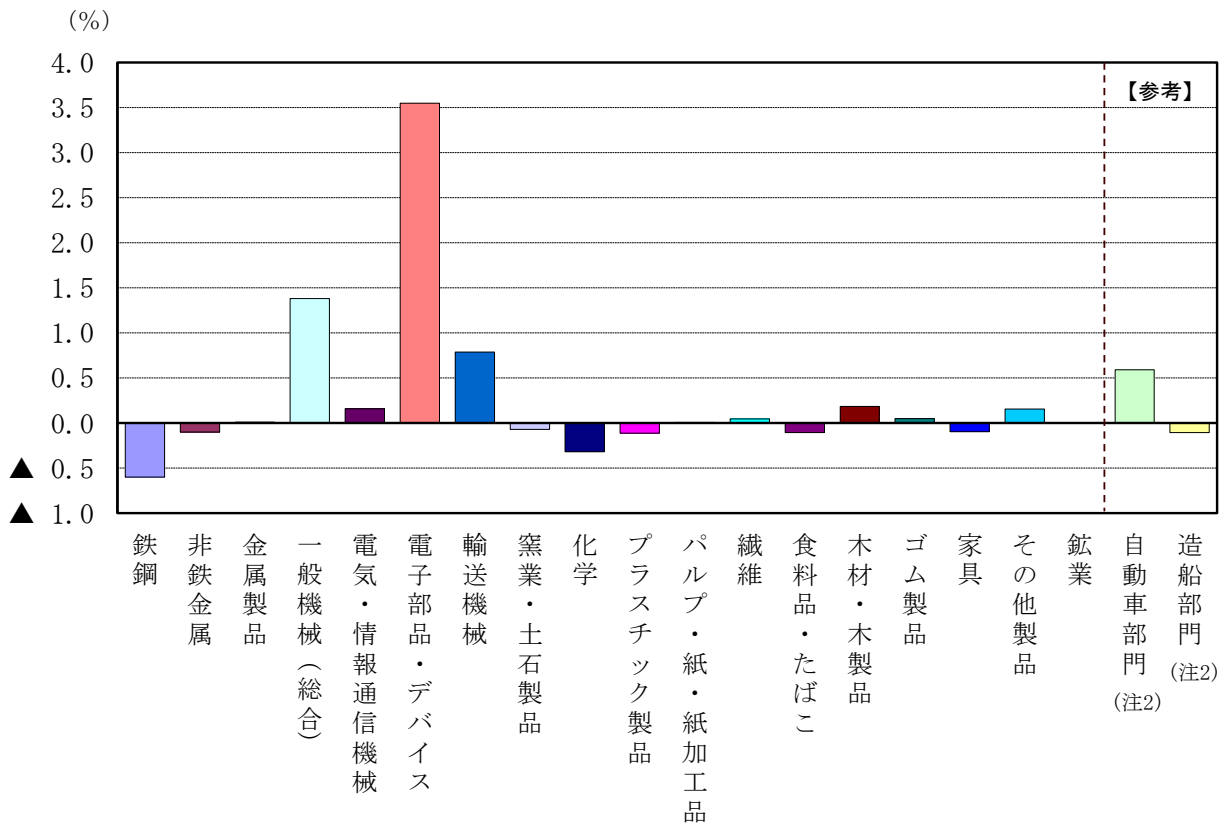
- ・ 在庫指数(期末在庫)は、93.5(前年比 8.2%上昇)。2年連続で前年を上回った(図1)。
- ・ 業種別にみると、輸送機械工業、一般機械工業（総合）、繊維工業など10業種で上昇し、鉱業は横ばい、鉄鋼業、化学工業、食料品・たばこ工業など6業種で低下した。

図1 鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）（平成27年平均=100）



(注) Ⅰ期：1～3月、Ⅱ期：4～6月、Ⅲ期：7～9月、Ⅳ期：10～12月

図2 令和4年における生産指数の前年比に対する業種別寄与度<sup>(注1)</sup>



(注1) 寄与度とは、指数全体の上昇・低下に対し、各業種の上昇・低下が、どの程度影響を与えているかを示したもの。

(注2) 「自動車部門」：輸送機械工業19品目のうち、普通自動車など自動車関連11品目と、電気・情報通信機械工業の自動車用電気照明器具及びプラスチック製品工業のプラスチック機械部品\_輸送機械用の合計。

「造船部門」：輸送機械工業のうち、鋼船新造など造船関係5品目の合計。

## 2 生産の業種別動向（寄与度順）

### (1) 前年比が上昇した主な業種

上昇した主な業種	前年比	寄与度	上昇した主な品目
電子部品・デバイス工業	21.5%	3.5%	大規模集積回路
一般機械工業（総合）	7.4%	1.4%	圧縮機、ショベル系掘削機、半導体製造装置
輸送機械工業	2.9%	0.8%	普通自動車、航空機部品、シャシー及び車体部品

### (2) 前年比が低下した主な業種

低下した主な業種	前年比	寄与度	低下した主な品目
鉄鋼業	▲10.2%	▲0.6%	鋼半製品、鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材
化学工業	▲9.4%	▲0.3%	アクリロニトリル、マクリル酸エステル(モノマー)、酸化第二鉄
プラスチック製品工業	▲2.0%	▲0.1%	日用品・雑貨、フィルム_硬質製品、光学フィルム

### 3 関連業種別生産指数の推移

機械関連業種は2年連続の上昇、素材関連業種と生活関連業種は2年ぶりの低下

業種別の生産指数を、機械関連業種、素材関連業種、生活関連業種の3関連業種に分けて分析すると<sup>(注)</sup>、令和4年は、機械関連業種は2年連続の上昇、素材関連業種は2年ぶりの低下、生活関連業種は2年ぶりの低下となった(図3、4)。

図3 生産指数の前年比の推移

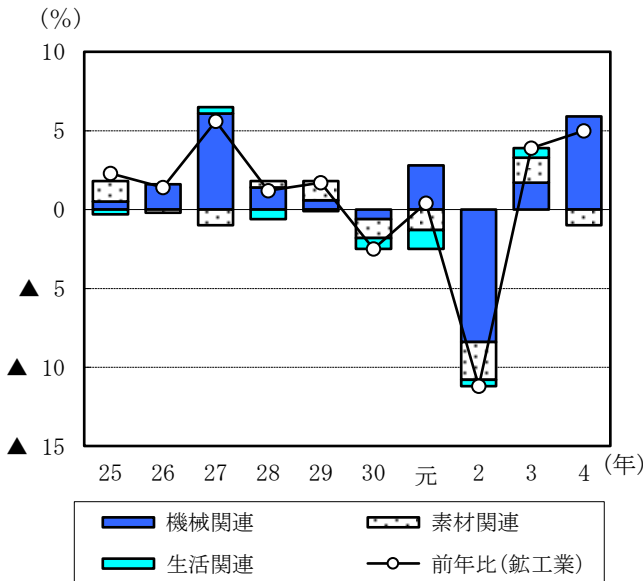
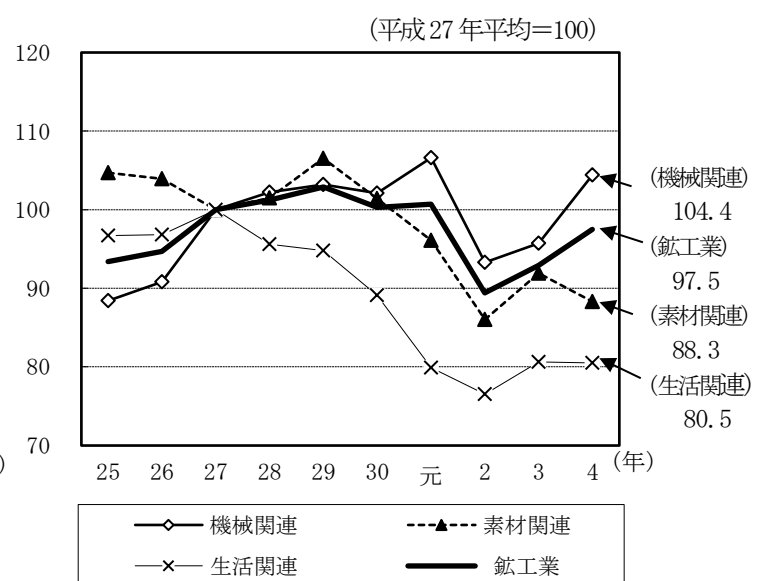


図4 関連業種別生産指数の推移



(注) 各関連業種の分類は、次のとおりとした。

機械関連業種：一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の4業種

素材関連業種：鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業、化学工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の9業種

生活関連業種：繊維工業、食料品・たばこ工業、家具工業、その他製品工業の4業種

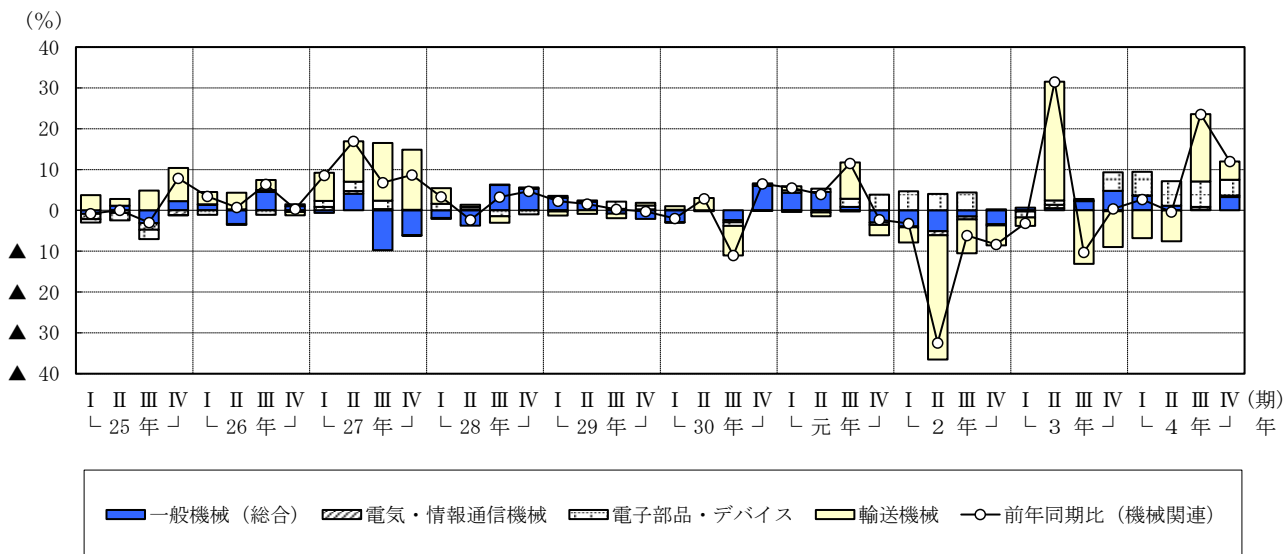
#### (1) 機械関連業種の生産指数の推移

機械関連業種の生産指数は、Ⅱ期以外はプラスで推移

機械関連業種の生産指数は、令和4年Ⅱ期に3期ぶりに前年同期を下回ったものの、Ⅲ期は全業種がプラスに寄与、特に輸送機械工業の寄与が大きなものとなり、Ⅳ期も前年同期を上回った(図5)。

機械関連	令和4年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	104.8	94.0	108.2	110.7
前年同期比(%)	2.7	▲ 0.4	23.5	12.0

図5 生産指数（機械関連業種）の前年同期比の推移及び業種別寄与度



① 一般機械工業（総合）

一般機械工業（総合）は、116.4（前年比 7.4%上昇）。ポンプ、プラスチック押出成形機などが低下したものの、圧縮機、ショベル系掘削機械などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を上回り、令和3年I期以降8期連続で前年同期を上回った。

② 電気・情報通信機械工業

電気・情報通信機械工業は、85.8（前年比 6.5%上昇）。開閉制御装置、電気溶接機などが低下したものの、低圧遮断器、電気計器などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年I期に2期ぶりに前年同期を上回り、II期は前年同期を下回ったものの、III期からIV期は前年同期を上回った。

③ 電子部品・デバイス工業

電子部品・デバイス工業は、170.7（前年比 21.5%上昇）。プロジェクションスクリーン、混成集積回路などが低下したものの、大規模集積回路が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を上回り、令和3年II期以降7期連続で前年同期を上回った。

④ 輸送機械工業

輸送機械工業は、78.4（前年比 2.9%上昇）。特装ボデー、鋼船修理などが低下したものの、普通自動車、航空機部品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年III期に5期ぶりに前年同期を上回り、IV期も前年同期を上回った。

【参考】自動車部門

自動車部門は、84.2（前年比 2.6%上昇）。特装ボデー、計器類などが低下したものの、普通自動車、シャシー及び車体部品などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年III期に5期ぶりに前年同期を上回り、IV期も前年同期を上回った。

## 【参考】造船部門

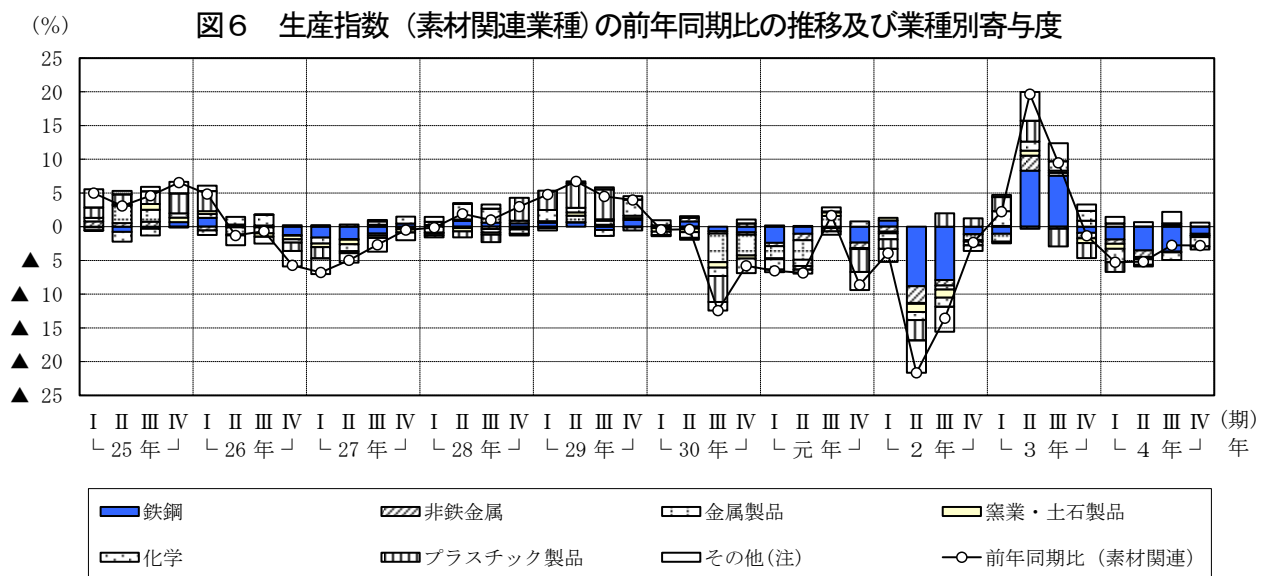
造船部門は、52.0(前年比 ▲2.4%低下)。鋼船新造、船体ブロックなどが上昇したものの、鋼船修理、船用蒸気タービンが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年Ⅱ期に10期ぶりに前年同期を上回り、Ⅲ期も前年同期を上回ったものの、Ⅳ期は前年同期を下回った。

## (2) 素材関連業種の生産指数の推移

### 素材関連業種の生産指数は、全期でマイナス

素材関連業種の生産指数は、鉄鋼業と化学工業が全期で前年同期を下回ったため、全期で前年同期を下回り、令和3年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った。(図6)。

素材関連	令和4年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	90.2	86.4	87.9	88.7
前年同期比(%)	▲ 5.2	▲ 5.2	▲ 2.7	▲ 2.8



(注) 「その他」はパルプ・紙・紙加工品工業、木材・木製品工業、ゴム製品工業の合計。

### ① 鉄鋼業

鉄鋼業の生産指数は、81.9(前年比 ▲10.2%低下)。ティンフリースチール、鋼板などが上昇したものの、鋼管製品、鋼帯などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和3年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った。

### ② 非鉄金属工業

非鉄金属工業の生産指数は、73.0(前年比 ▲7.8%低下)。アルミニウム鋳物、電気銀が上昇したものの、アルミニウムダイカスト、電気金などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年Ⅲ期に5期ぶりに前年同期を上回ったものの、Ⅳ期は前年同期を下回った。

### ③ 金属製品工業

金属製品工業は、73.5(前年比 0.4%上昇)。グレーチング、電気溶接棒などが低下したものの、水門(水門巻上機を含む)、橋りょうなどが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年Ⅱ期に4期ぶりに前年同期を下回り、Ⅲ期、Ⅳ期も前年同期を下回った。

### ④ 窯業・土石製品工業

窯業・土石製品工業は、83.5(前年比 ▲3.7%低下)。耐火れんが、ほうろう鉄器製品などが上昇したものの、石灰、生コンクリートなどが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和3年Ⅳ期以降5期連続で前年同期を下回った。

### ⑤ 化学工業

化学工業は、94.4(前年比 ▲9.4%低下)。環境保全用触媒、ウレタンフォームなどが上昇したものの、アクリロニトリル、メタクリル酸エステル(モノマー)などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和4年Ⅰ期以降4期連続で前年同期を下回った。

### ⑥ プラスチック製品工業

プラスチック製品工業は、100.6(前年比 ▲2.0%低下)。プラスチック機械部品\_輸送機械用、プラスチック機械部品\_その他などが上昇したものの、日用品・雑貨、フィルム\_硬質製品などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年Ⅲ期に5期ぶりに前年同期を上回ったものの、Ⅳ期は前年同期を下回った。

### ⑦ パルプ・紙・紙加工品工業

パルプ・紙・紙加工品工業は、98.9(前年比 0.9%上昇)。包装用紙、紙器用板紙などが低下したものの、製紙パルプ、雑板紙などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和3年Ⅰ期以降7期連続で前年同期を上回ったものの、令和4年Ⅳ期に8期ぶりに前年同期を下回った。

### ⑧ 木材・木製品工業

木材・木製品工業は、103.3(前年比 11.4%上昇)。製材品が低下したものの、特殊合板が上昇に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を上回り、令和3年Ⅰ期以降8期連続で前年同期を上回った。

### ⑨ ゴム製品工業

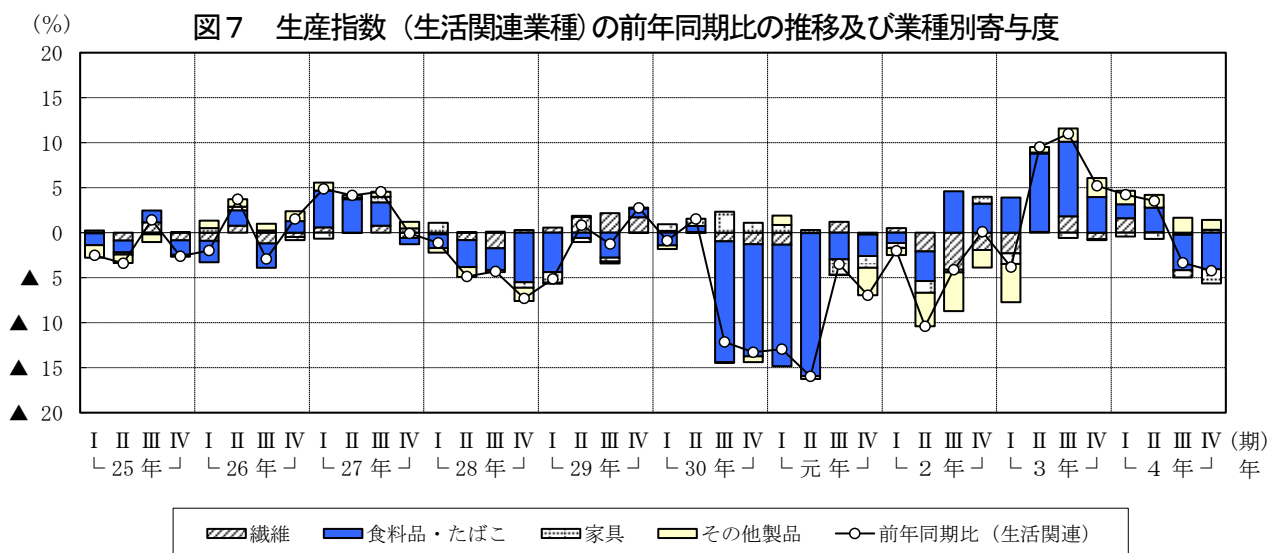
ゴム製品工業は、86.7(前年比 3.8%上昇)。その他のゴム製品、工業用ゴム製品など全ての品目が上昇した。四半期ごとにみると、令和4年Ⅲ期に5期ぶりに前年同期を上回り、Ⅳ期も前年同期を上回った。

### (3) 生活関連業種の生産指数の推移

生活関連業種の生産指数は、令和4年Ⅲ期に6期ぶりにマイナスに転じる

生活関連業種の生産指数は、令和4年Ⅲ期に6期ぶりに前年同期を下回り、Ⅳ期も前年同期を下回った(図7)。

生活関連	令和4年Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
原指数	80.6	84.8	78.6	78.2
前年同期比(%)	4.2	3.5	▲ 3.4	▲ 4.2



#### ① 繊維工業

繊維工業は、91.2(前年比 2.7%上昇)。網類、外衣などが低下したものの、再生・半合成繊維、合成繊維などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年Ⅲ期は前年同期を下回ったものの、Ⅰ期からⅡ期とⅣ期は前年同期を上回った。

#### ② 食料品・たばこ工業

食料品・たばこ工業の生産指数は、77.0(前年比 ▲1.5%低下)。清酒、パン類などが上昇したものの、冷凍調理食品、瓶詰・缶詰などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、令和4年Ⅲ期に9期ぶりに前年同期を下回り、Ⅳ期も前年同期を下回った。

#### ③ 家具工業

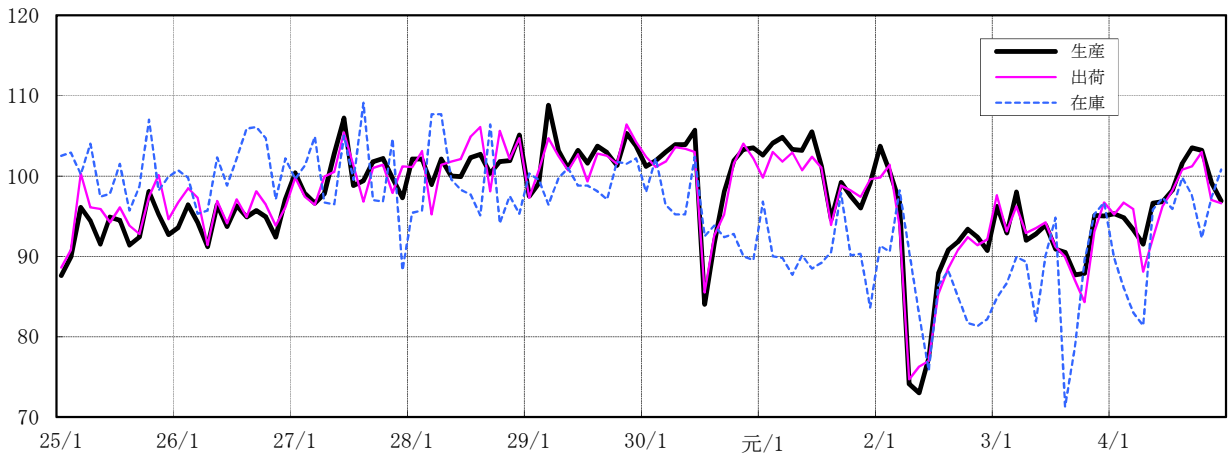
家具工業は、80.8(前年比 ▲15.4%低下)。木製テーブル、木製応接いす・食卓いすなどが上昇したものの、木製食器棚、その他の金属製家具などが低下に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を下回り、令和3年Ⅲ期以降6期連続で前年同期を下回った。

#### ④ その他製品工業

その他製品工業は、85.0(前年比 8.1%上昇)。印刷、手縫針などが低下したものの、看板、毛筆などが上昇に寄与した。四半期ごとにみると、全期で前年同期を上回り、令和3年Ⅱ期以降7期連続で前年同期を上回った。

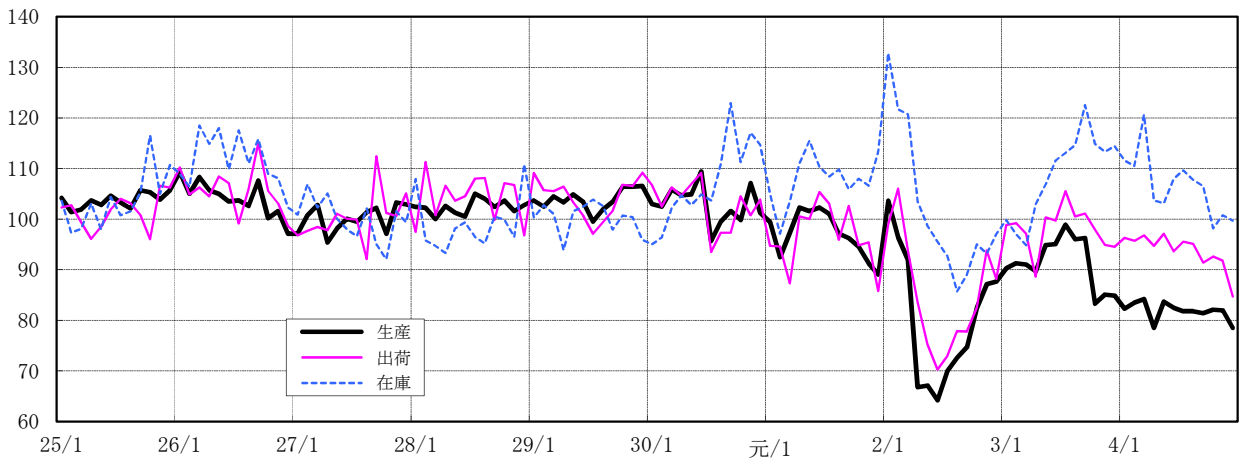
#### 4 業種別季節調整済指数の推移（平成27年平均＝100）

鋳工業（付加価値額ウェイト＝10000.0）



（年/月）

鉄鋼業（付加価値額ウェイト＝600.3）

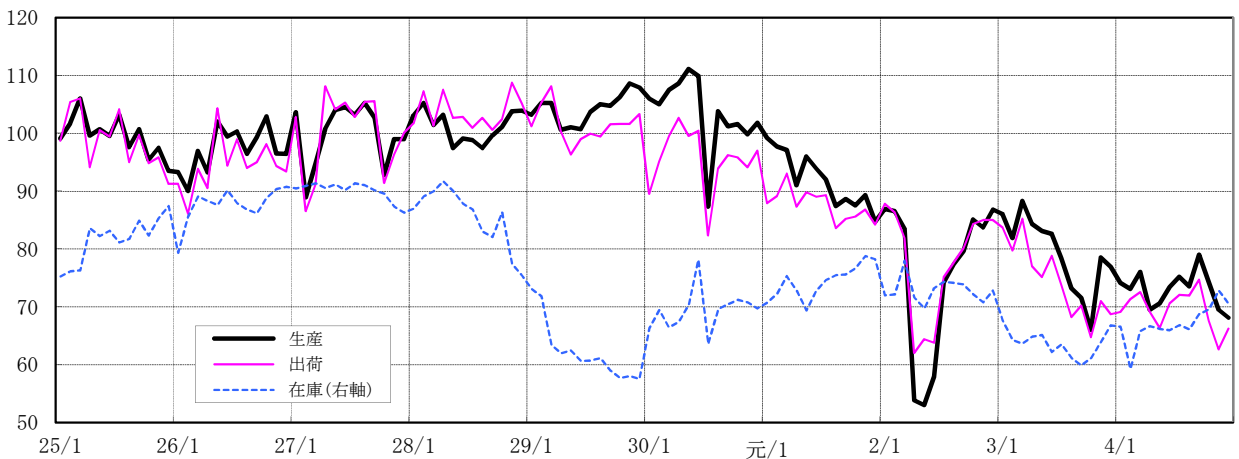


（年/月）

生産・出荷

非鉄金属工業（付加価値額ウェイト＝148.8）

在庫



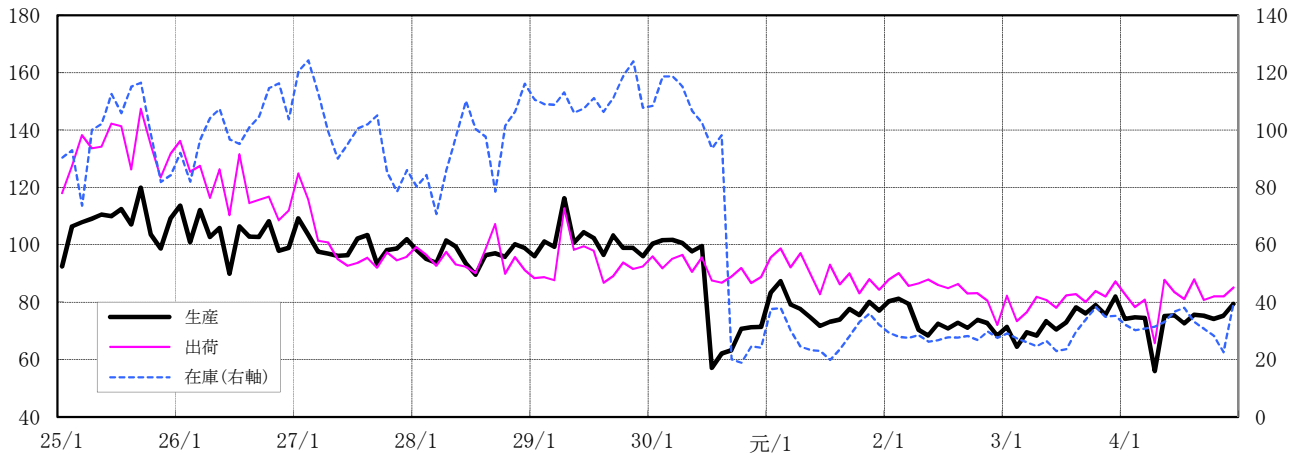
（年/月）



生産・出荷

### 金属製品工業（付加価値額ウェイト＝276.0）

在庫

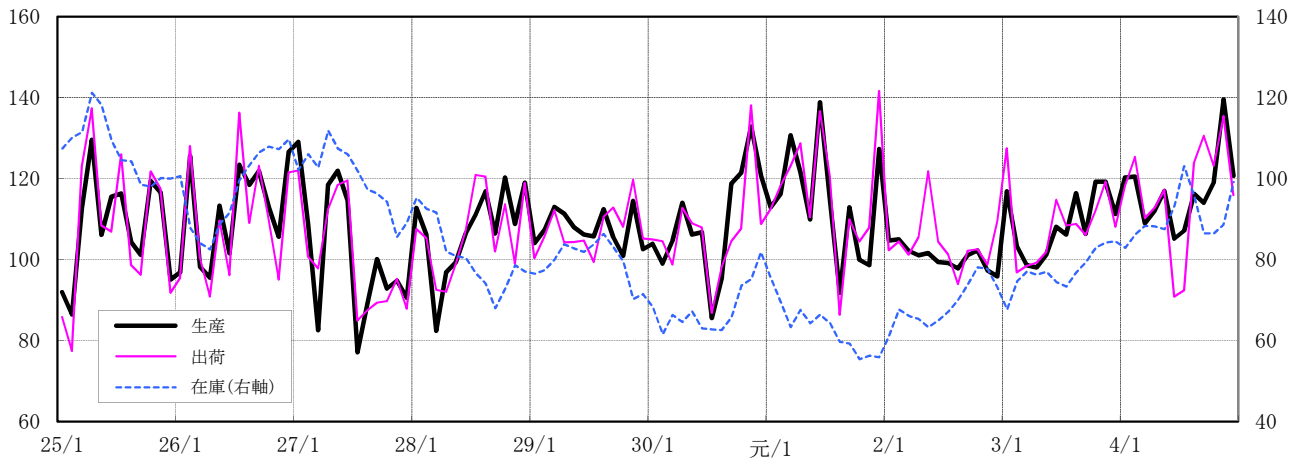


(年/月)

生産・出荷

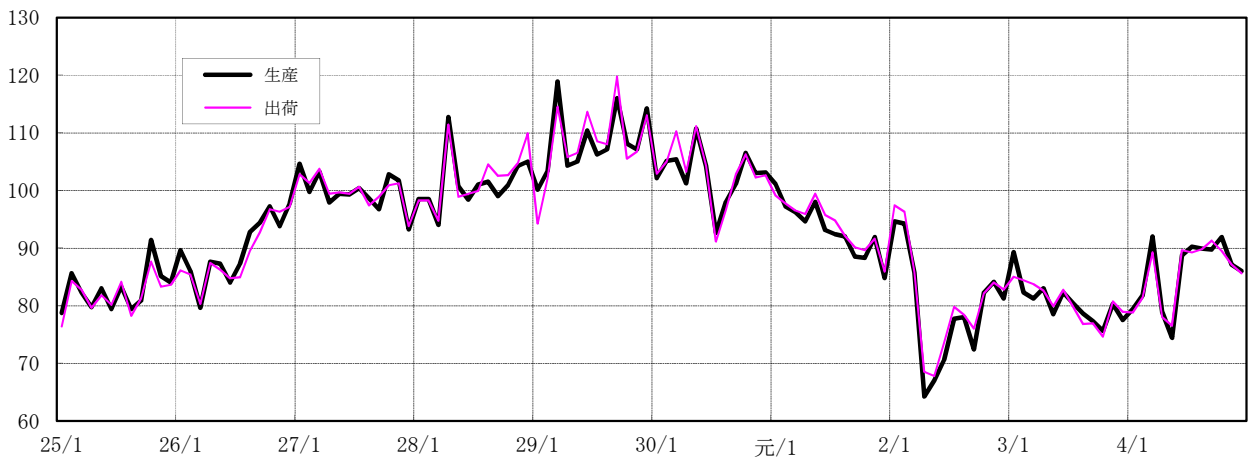
### 一般機械工業（総合）（付加価値額ウェイト＝1605.0）

在庫



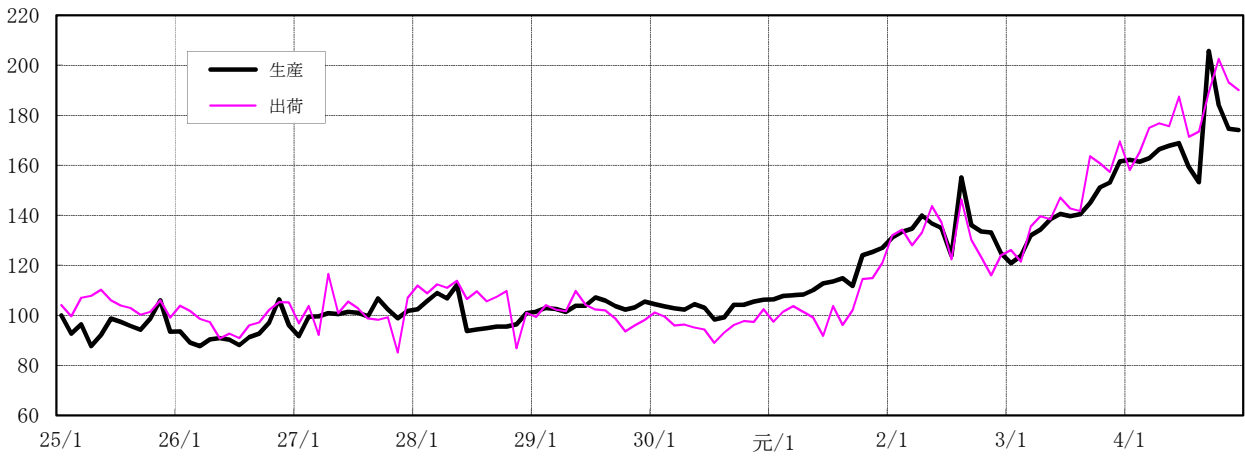
(年/月)

### 電気・情報通信機械工業（付加価値額ウェイト＝280.9）



(年/月)

電子部品・デバイス工業（付加価値額ウェイト=1091.1）

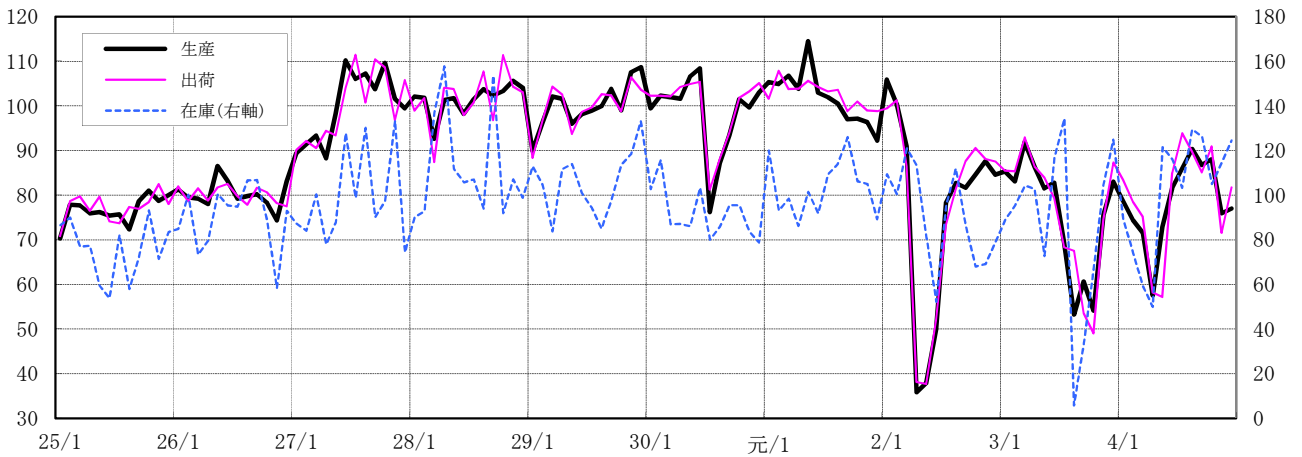


(年/月)

生産・出荷

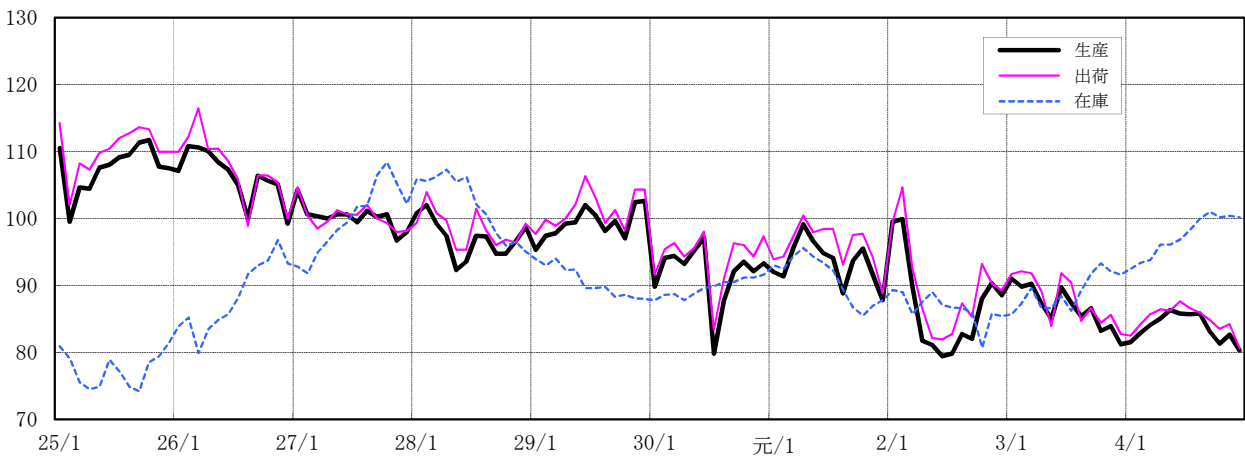
輸送機械工業（付加価値額ウェイト=3327.2）

在庫



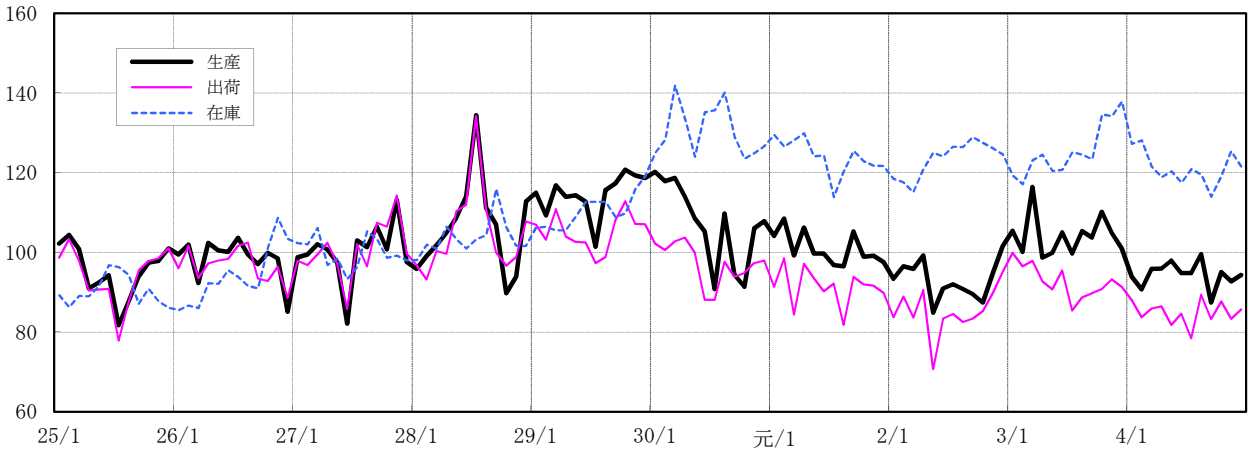
(年/月)

窯業・土石製品工業（付加価値額ウェイト=202.0）



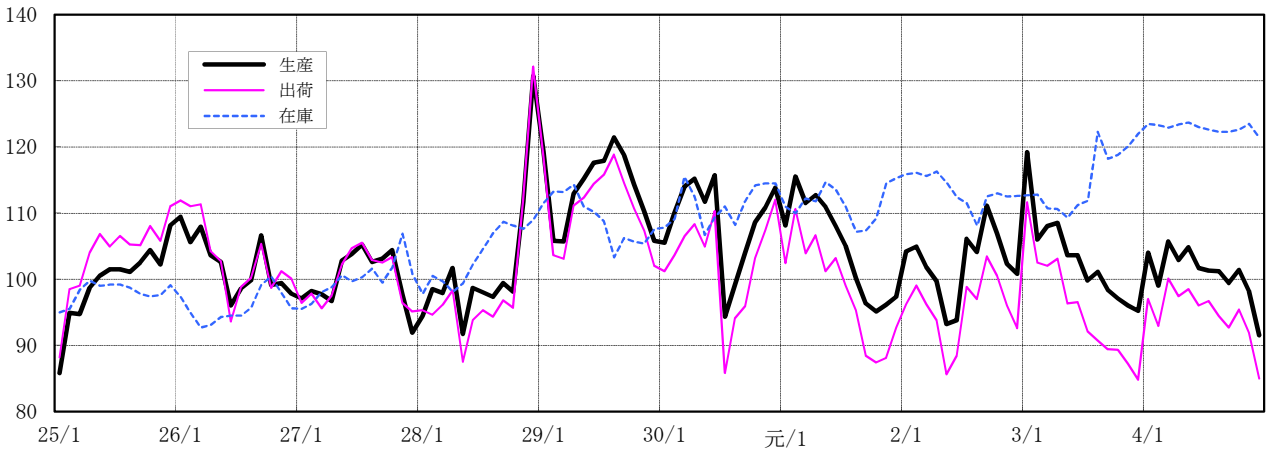
(年/月)

化学工業（付加価値額 $\times$ 1=302.5）



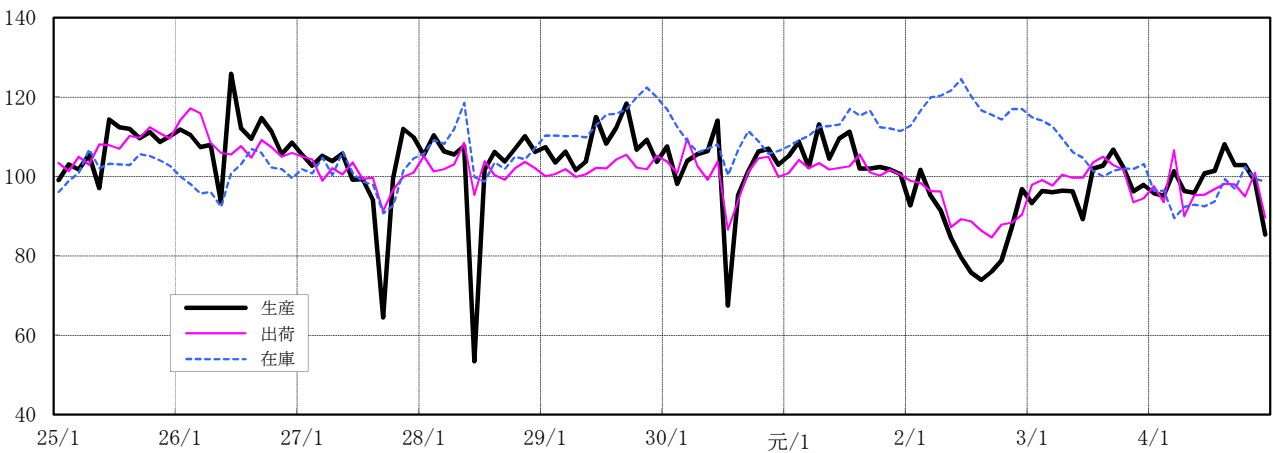
(年/月)

プラスチック製品工業（付加価値額 $\times$ 1=504.9）



(年/月)

パルプ・紙・紙加工品工業（付加価値額 $\times$ 1=82.9）

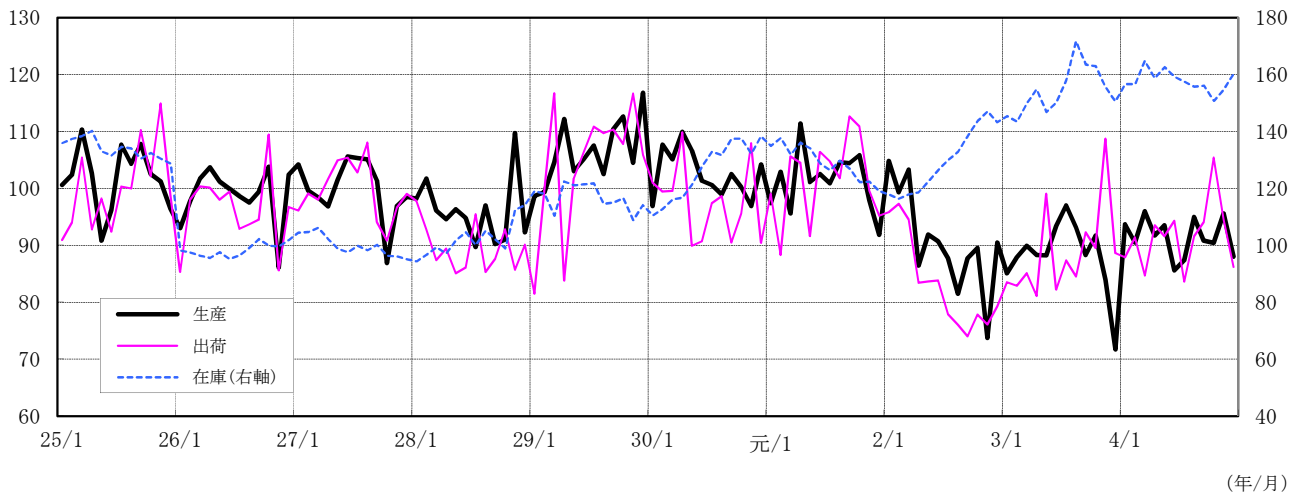


(年/月)

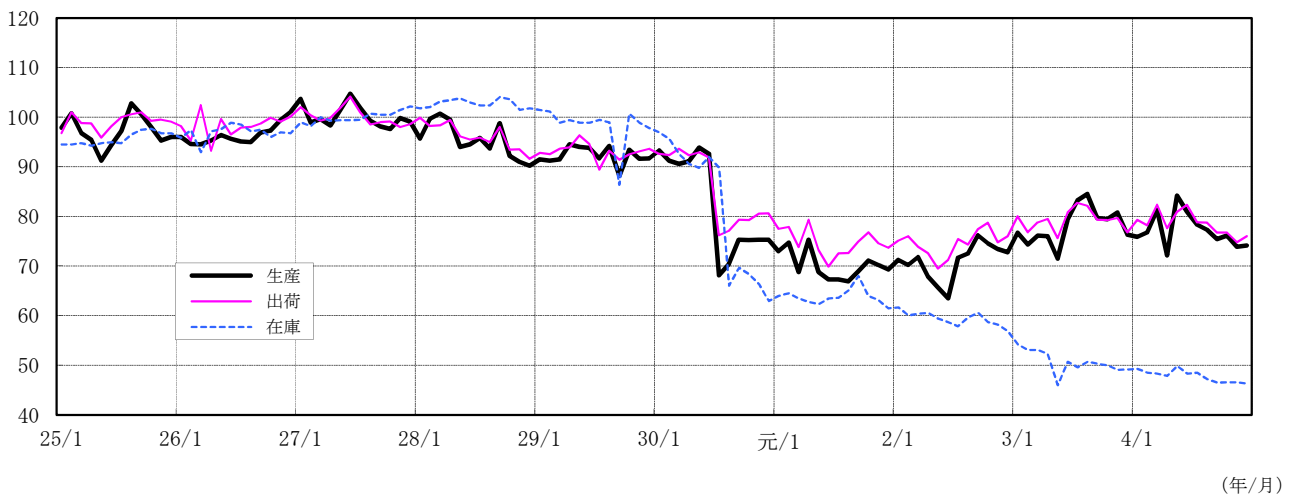
生産・出荷

### 繊維工業（付加価値額ウェイト=173.3）

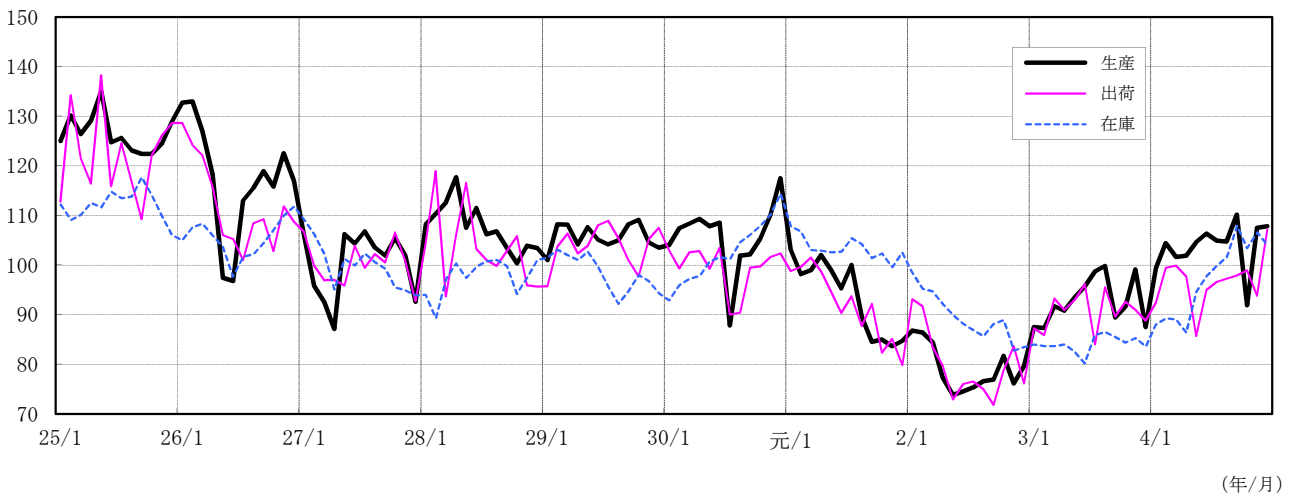
在庫



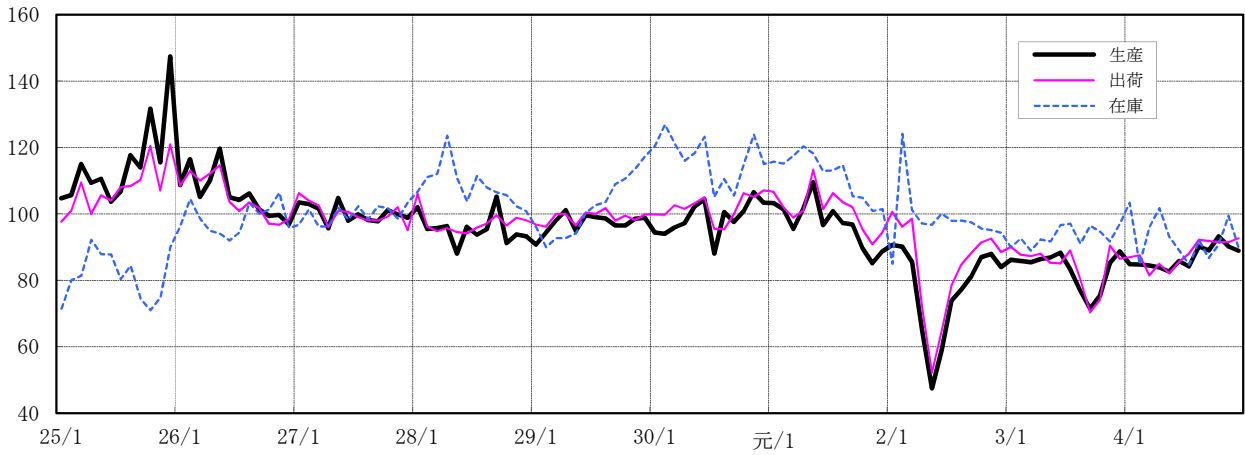
### 食料品・たばこ工業（付加価値額ウェイト=813.8）



### 木材・木製品工業（付加価値額ウェイト=161.5）

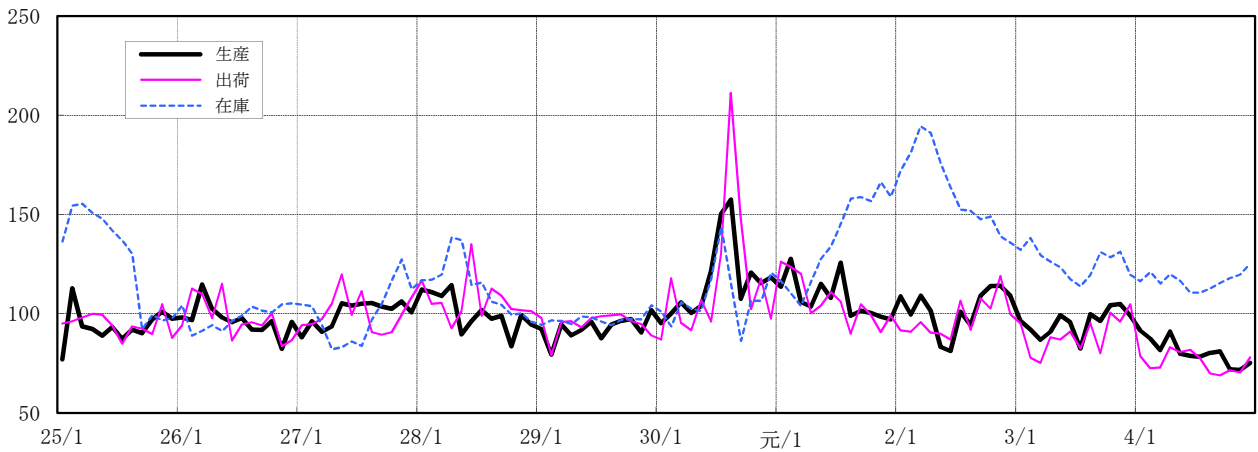


ゴム製品工業（付加価値額ウェイト＝142.7）



（年/月）

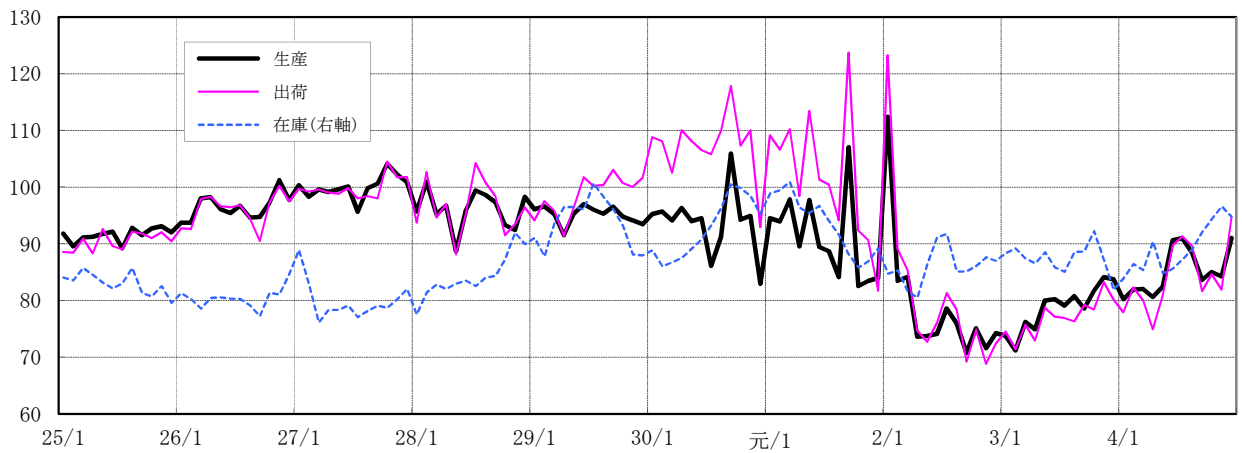
家具工業（付加価値額ウェイト＝61.9）



（年/月）

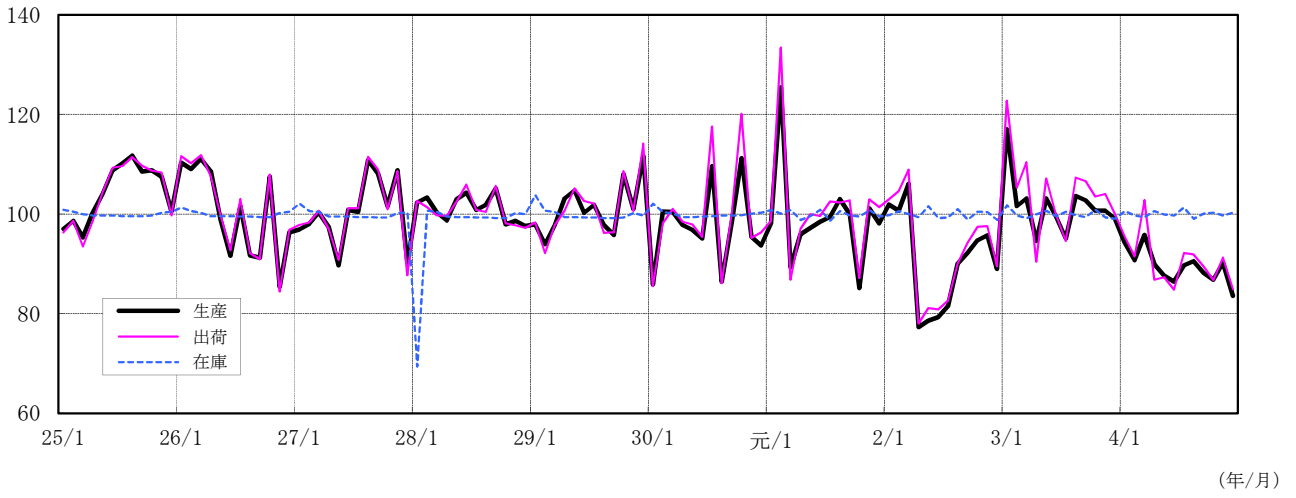
生産・出荷

その他製品工業（付加価値額ウェイト＝223.3）

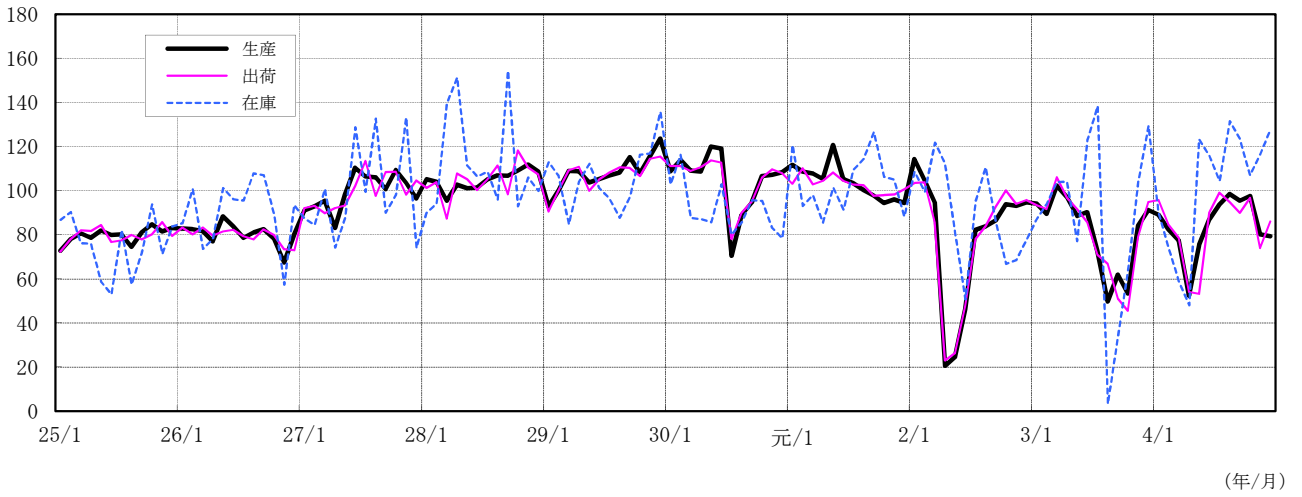


（年/月）

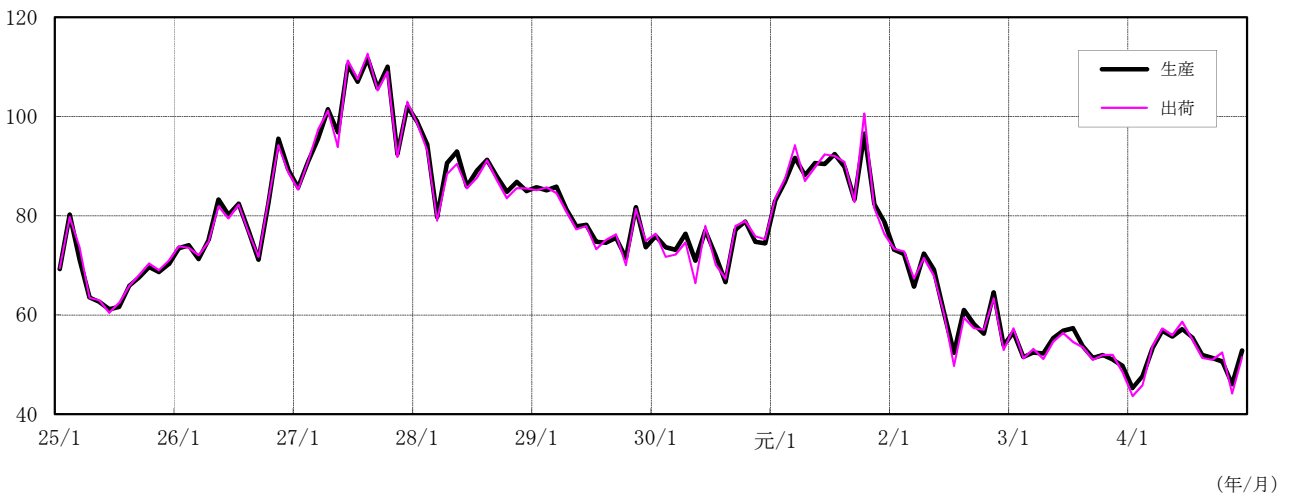
鉱業（付加価値額ウエイト＝1.9）



【参考】自動車部門（付加価値額ウエイト＝2605.0）



【参考】造船部門（付加価値額ウエイト＝761.3）



## 5 広島県、中国地方及び全国における生産指数の推移

令和4年を四半期ごとにみると、広島県では、Ⅱ期は前年同期を下回ったが、Ⅰ期とⅢ期とⅣ期は前年同期を上回った(図8-1)。中国地方では、全期で前年同期を上回った(図8-2)。全国では、Ⅲ期は前年同期を上回ったが、Ⅰ期とⅡ期とⅣ期は前年同期を下回った(図8-3)。

図8-1 広島県の生産指数の前年同期比の推移

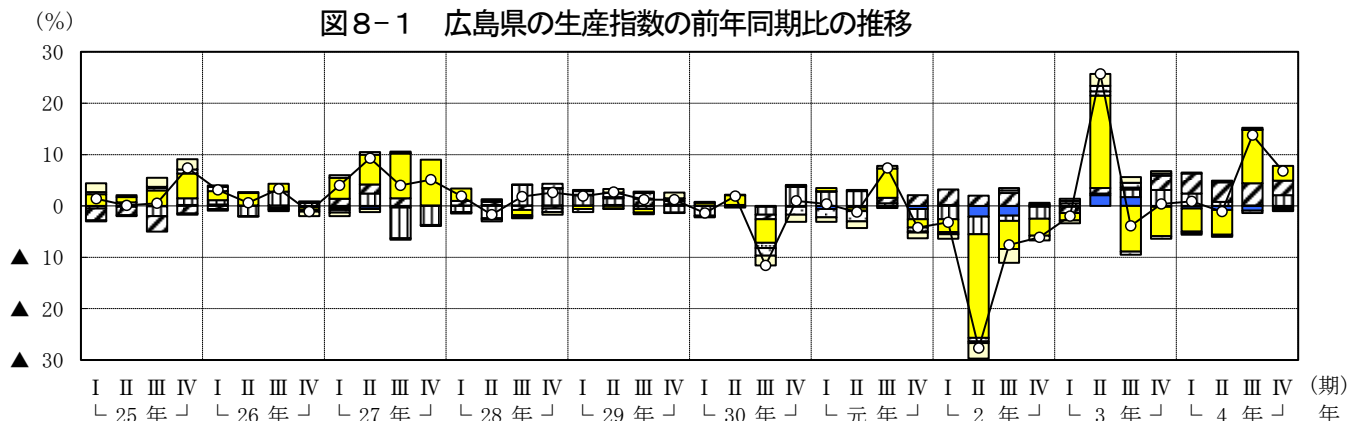


図8-2 中国地方の生産指数の前年同期比の推移

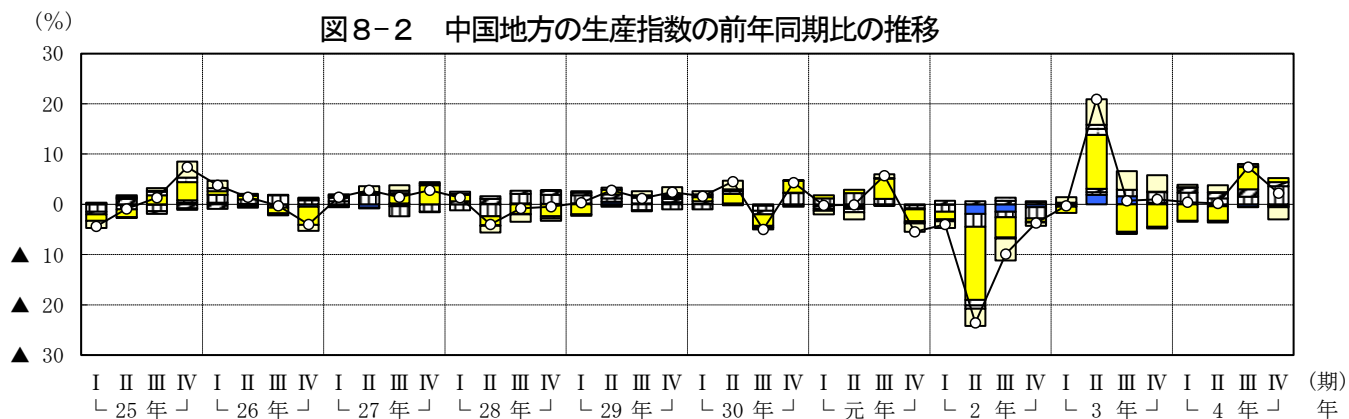
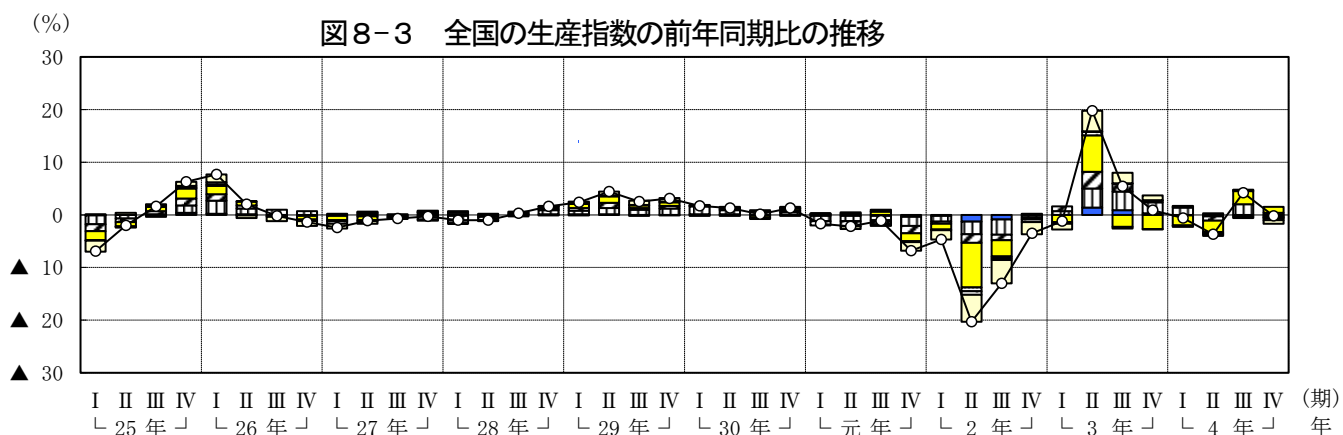


図8-3 全国の生産指数の前年同期比の推移



■ 鉄鋼 ■ 一般機械(総合) ■ 電気機械(総合) ■ 輸送機械 ■ プラスチック製品 ■ 食料品・たばこ ■ その他 ○ 鉱工業

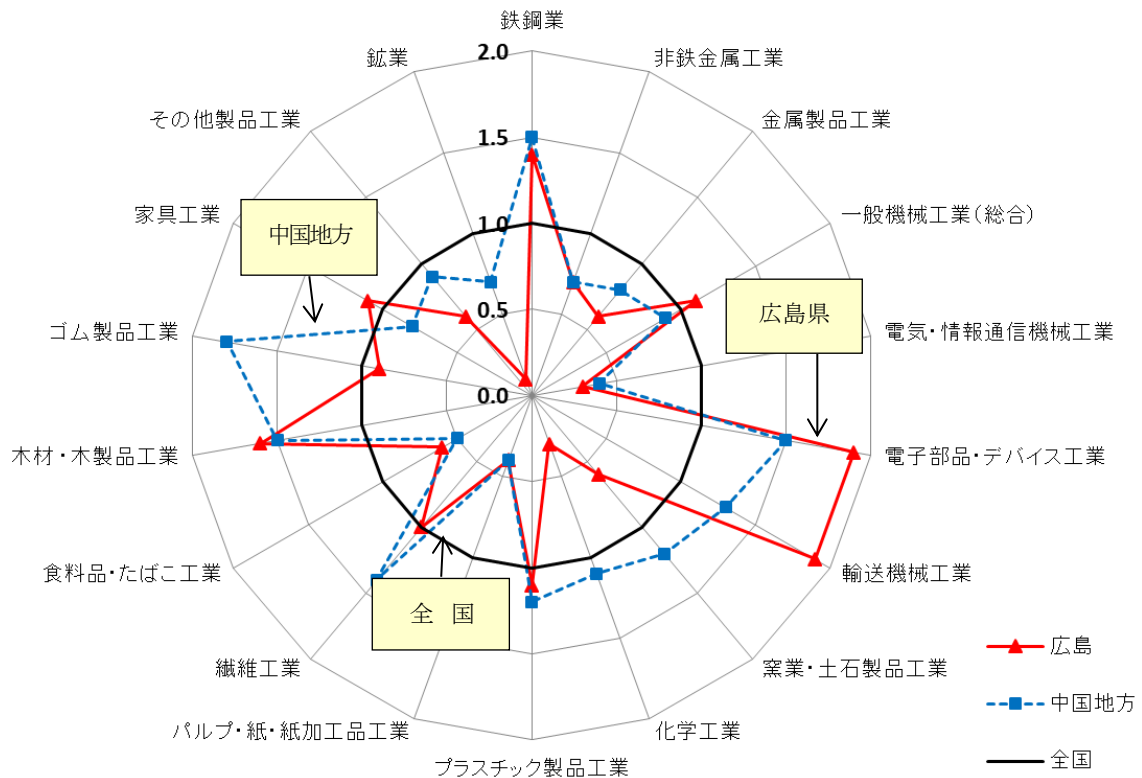
出所：中国地方…「中国地域鉱工業生産動向」(経済産業省中国経済産業局) 全国…「鉱工業生産・出荷・在庫指数」(経済産業省)

**【参考】 生産指数の付加価値額ウェイト(平成27年基準)について**

特化係数<sup>(注)</sup>を用いて、広島県の業種のウェイトが、全国や中国地方と比較してどの程度の偏りがあるかみると、全国との比較では、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業、木材・木製品工業、鉄鋼業の特化の度合いが大きい一方、鉱業、電気・情報通信機械工業、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業の特化の度合いが小さい(図9)。

中国地方との比較では、輸送機械工業、家具工業、電子部品・デバイス工業の特化の度合いが大きい、鉱業、化学工業、ゴム製品工業の特化の度合いが小さい(図9)。

**図9 業種における広島県及び中国地方の特化係数**  
(各特化係数は、平成27年基準の付加価値額ウェイトにより算出)



生産 (付加価値額) ウェイト	鉄鋼業	非鉄金属 工業	金属製品 工業	一般機械 工業(総合)	電気・情報 通信機械 工業	電子部 品・ デバイス 工業	輸送機械 工業	窯業・土 石 製品工業	化学工業	プラス チック 製品工業	パルプ・ 紙・ 紙加工 品工業	繊維工業	食品・た ばこ工 業	木材・ 木製品 工業	ゴム製品 工業	家具工業	その他 製品工業	鉱業
広島	600.3	148.8	276.0	1605.0	280.9	1091.1	3327.2	202.0	302.5	504.9	82.9	173.3	813.8	161.5	142.7	61.9	223.3	1.9
中国地方	638.7	143.4	362.5	1334.7	327.9	881.5	2315.5	376.7	1219.5	543.9	90.0	259.2	677.6	152.1	270.0	45.1	350.2	11.5
全国	423.2	201.6	438.1	1436.6	839.3	580.8	1796.5	322.0	1093.0	441.7	226.5	182.2	1313.8	98.2	150.8	54.0	384.7	17.0

(注)特化係数 = 各地域の構成比 ÷ 全国の構成比

特化係数が1を超えると、その地域において、その業種の構成比が全国平均よりも相対的に高いことを表し、特化係数が1を下回ると、その地域において、その業種の構成比が全国平均よりも相対的に低いことを表す。



別表 広島県、中国地方及び全国の生産指数

(平成27年平均=100)

年・期・月	広島県				中国地方				全国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 25年	/	/	93.4	2.3	/	/	97.8	0.7	/	/	99.2	▲ 0.4
26年			94.7	1.4			101.2	2.0				
27年			100.0	5.6			100.0	▲ 1.2				
28年			101.2	1.2			99.0	▲ 1.0				
29年			102.9	1.7			100.6	1.6				
30年			100.3	▲ 2.5			102.0	1.4				
令和 元年			100.7	0.4			101.8	▲ 0.2				
2年			89.4	▲ 11.2			91.3	▲ 10.3				
3年			92.9	3.9			95.8	4.9				
4年			97.5	5.0			98.1	2.4				
平成 25年 I 期	91.2	2.0	93.1	1.4	95.7	0.8	95.1	▲ 4.4	96.3	0.5	96.2	▲ 6.9
II 期	93.6	2.6	90.6	0.1	96.4	0.7	94.9	▲ 0.9	98.4	2.2	97.0	▲ 2.0
III 期	92.8	▲ 0.9	93.6	0.5	97.9	1.6	99.2	1.3	100.3	1.9	100.7	1.6
IV 期	95.3	2.7	96.3	7.4	101.2	3.4	102.0	7.4	101.6	1.3	103.0	6.3
26年 I 期	94.7	▲ 0.6	96.0	3.1	99.2	▲ 2.0	98.7	3.8	103.6	2.0	103.6	7.7
II 期	93.8	▲ 1.0	91.1	0.6	97.9	▲ 1.3	96.2	1.4	100.6	▲ 2.9	98.9	2.0
III 期	95.6	1.9	96.7	3.3	97.8	▲ 0.1	98.9	▲ 0.3	100.1	▲ 0.5	100.5	▲ 0.2
IV 期	94.8	▲ 0.8	95.2	▲ 1.1	97.2	▲ 0.6	97.9	▲ 4.0	100.2	0.1	101.6	▲ 1.4
27年 I 期	98.3	3.7	99.8	4.0	100.1	3.0	100.1	1.4	100.7	0.5	101.1	▲ 2.4
II 期	102.6	4.4	99.6	9.3	100.9	0.8	98.9	2.8	99.8	▲ 0.9	97.8	▲ 1.1
III 期	100.0	▲ 2.5	100.6	4.0	99.6	▲ 1.3	100.3	1.4	99.8	0.0	99.8	▲ 0.7
IV 期	99.7	▲ 0.3	100.1	5.1	99.9	0.3	100.6	2.8	99.7	▲ 0.1	101.3	▲ 0.3
28年 I 期	101.0	1.3	101.7	1.9	100.1	0.2	101.4	1.3	99.7	0.0	100.1	▲ 1.0
II 期	100.7	▲ 0.3	97.9	▲ 1.7	97.0	▲ 3.1	94.9	▲ 4.0	99.0	▲ 0.7	96.8	▲ 1.0
III 期	101.8	1.1	102.4	1.8	98.9	2.0	99.5	▲ 0.8	100.3	1.3	100.1	0.3
IV 期	102.9	1.1	102.7	2.6	99.7	0.8	100.1	▲ 0.5	101.7	1.4	102.9	1.6
29年 I 期	101.8	▲ 1.1	103.6	1.9	100.7	1.0	101.7	0.3	101.3	▲ 0.4	102.5	2.4
II 期	102.5	0.7	100.5	2.7	99.6	▲ 1.1	97.6	2.8	103.2	1.9	101.1	4.4
III 期	102.7	0.2	103.6	1.2	100.4	0.8	100.7	1.2	103.2	0.0	102.6	2.5
IV 期	103.4	0.7	103.9	1.2	101.8	1.4	102.5	2.4	104.4	1.2	106.1	3.1
30年 I 期	102.0	▲ 1.4	102.1	▲ 1.4	102.5	0.7	103.3	1.6	103.5	▲ 0.9	104.2	1.7
II 期	104.5	2.5	102.4	1.9	104.6	2.0	102.0	4.5	104.3	0.8	102.4	1.3
III 期	91.2	▲ 12.7	91.6	▲ 11.6	95.4	▲ 8.8	95.7	▲ 5.0	103.6	▲ 0.7	102.7	0.1
IV 期	102.9	12.8	104.9	1.0	105.4	10.5	106.9	4.3	105.0	1.4	107.5	1.3
令和 元年 I 期	103.8	0.9	102.5	0.4	103.3	▲ 2.0	103.1	▲ 0.2	102.8	▲ 2.1	102.4	▲ 1.7
II 期	104.0	0.2	101.2	▲ 1.2	104.6	1.3	101.9	▲ 0.1	102.8	0.0	100.1	▲ 2.2
III 期	98.3	▲ 5.5	98.4	7.4	100.8	▲ 3.6	101.2	5.7	101.7	▲ 1.1	101.6	▲ 1.1
IV 期	97.5	▲ 0.8	100.5	▲ 4.2	99.7	▲ 1.1	101.0	▲ 5.5	98.0	▲ 3.6	100.2	▲ 6.8
2年 I 期	100.3	2.9	99.2	▲ 3.2	99.0	▲ 0.7	99.0	▲ 4.0	98.0	0.0	97.6	▲ 4.7
II 期	74.8	▲ 25.4	73.2	▲ 27.7	79.3	▲ 19.9	77.9	▲ 23.6	81.5	▲ 16.8	79.8	▲ 20.3
III 期	90.2	20.6	90.9	▲ 7.6	90.8	14.5	91.2	▲ 9.9	88.8	9.0	88.4	▲ 13.0
IV 期	92.2	2.2	94.4	▲ 6.1	95.3	5.0	97.3	▲ 3.7	93.9	5.7	96.7	▲ 3.5
3年 I 期	95.7	3.8	97.2	▲ 2.0	98.1	2.9	98.7	▲ 0.3	96.3	2.6	96.4	▲ 1.2
II 期	92.9	▲ 2.9	92.0	25.7	95.8	▲ 2.3	94.2	20.9	96.5	0.2	95.6	19.8
III 期	89.7	▲ 3.4	87.4	▲ 3.9	92.6	▲ 3.3	91.8	0.7	94.7	▲ 1.9	93.2	5.4
IV 期	92.7	3.3	94.8	0.4	96.4	4.1	98.3	1.0	94.9	0.2	97.6	0.9
4年 I 期	94.5	1.9	98.1	0.9	98.0	1.7	99.1	0.4	95.7	0.8	95.8	▲ 0.6
II 期	95.0	0.5	91.0	▲ 1.1	95.9	▲ 2.1	94.4	0.2	93.1	▲ 2.7	92.1	▲ 3.7
III 期	101.1	6.4	99.5	13.8	99.7	4.0	98.6	7.4	98.5	5.8	97.1	4.2
IV 期	99.8	▲ 1.3	101.2	6.8	99.6	▲ 0.1	100.5	2.2	95.5	▲ 3.0	97.4	▲ 0.2
平成 25年1月	87.6	▲ 3.5	84.0	▲ 0.6	94.1	▲ 0.1	89.7	▲ 3.7	94.8	▲ 1.7	89.1	▲ 5.7
2月	89.9	2.6	87.9	▲ 2.2	96.5	2.6	93.1	▲ 6.1	96.5	1.8	94.0	▲ 9.0
3月	96.1	6.9	107.5	6.3	96.5	0.0	102.5	▲ 3.6	97.7	1.2	105.6	▲ 5.8

(平成27年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 25年4月	94.4	▲ 1.8	93.1	5.9	97.5	1.0	94.9	1.0	97.7	0.0	96.3	▲ 1.3
5月	91.5	▲ 3.1	86.7	2.1	96.1	▲ 1.4	94.1	1.6	99.3	1.6	95.8	0.1
6月	94.9	3.7	92.1	▲ 6.7	95.7	▲ 0.4	95.7	▲ 5.2	98.2	▲ 1.1	98.8	▲ 4.6
7月	94.5	▲ 0.4	100.4	6.9	98.2	2.6	104.8	4.9	99.8	1.6	105.5	1.4
8月	91.4	▲ 3.3	86.2	▲ 4.3	96.7	▲ 1.5	92.2	▲ 4.5	100.0	0.2	93.1	▲ 1.4
9月	92.4	1.1	94.3	▲ 1.0	98.8	2.2	100.7	3.4	101.0	1.0	103.5	4.8
10月	98.1	6.2	99.2	12.5	101.8	3.0	104.0	10.4	101.2	0.2	104.4	5.8
11月	95.2	▲ 3.0	96.1	6.5	102.8	1.0	102.3	7.5	101.8	0.6	102.1	5.4
12月	92.7	▲ 2.6	93.7	3.2	99.0	▲ 3.7	99.6	4.1	101.8	0.0	102.6	8.0
平成 26年1月	93.6	1.0	90.1	7.3	100.7	1.7	96.1	7.1	103.8	2.0	98.0	10.0
2月	96.4	3.0	94.4	7.4	98.5	▲ 2.2	95.4	2.5	102.7	▲ 1.1	100.2	6.6
3月	94.2	▲ 2.3	103.4	▲ 3.8	98.3	▲ 0.2	104.7	2.1	104.2	1.5	112.7	6.7
4月	91.2	▲ 3.2	89.9	▲ 3.4	97.6	▲ 0.7	95.0	0.1	99.6	▲ 4.4	98.1	1.9
5月	96.4	5.7	90.3	4.2	98.5	0.9	95.3	1.3	101.9	2.3	96.3	0.5
6月	93.7	▲ 2.8	93.1	1.1	97.6	▲ 0.9	98.4	2.8	100.3	▲ 1.6	102.4	3.6
7月	96.3	2.8	102.8	2.4	99.3	1.7	105.7	0.9	100.1	▲ 0.2	105.5	0.0
8月	94.9	▲ 1.5	88.2	2.3	98.0	▲ 1.3	91.9	▲ 0.3	99.5	▲ 0.6	90.9	▲ 2.4
9月	95.7	0.8	99.1	5.1	96.2	▲ 1.8	99.2	▲ 1.5	100.7	1.2	105.0	1.4
10月	94.9	▲ 0.8	96.5	▲ 2.7	97.3	1.1	99.3	▲ 4.5	100.4	▲ 0.3	103.7	▲ 0.7
11月	92.4	▲ 2.6	89.5	▲ 6.9	96.8	▲ 0.5	94.6	▲ 7.5	100.4	0.0	98.6	▲ 3.4
12月	97.1	5.1	99.6	6.3	97.6	0.8	99.8	0.2	99.9	▲ 0.5	102.5	▲ 0.1
平成 27年1月	100.4	3.4	95.1	5.5	103.3	5.8	97.6	1.6	102.9	3.0	95.9	▲ 2.1
2月	97.8	▲ 2.6	96.1	1.8	98.9	▲ 4.3	96.0	0.6	99.8	▲ 3.0	97.4	▲ 2.8
3月	96.6	▲ 1.2	108.2	4.6	98.2	▲ 0.7	106.8	2.0	99.3	▲ 0.5	110.0	▲ 2.4
4月	97.8	1.2	96.2	7.0	98.8	0.6	96.2	1.3	99.5	0.2	97.9	▲ 0.2
5月	102.8	5.1	93.4	3.4	101.8	3.0	96.6	1.4	99.5	0.0	91.4	▲ 5.1
6月	107.2	4.3	109.1	17.2	102.1	0.3	103.8	5.5	100.4	0.9	104.1	1.7
7月	98.8	▲ 7.8	105.9	3.0	97.8	▲ 4.2	103.9	▲ 1.7	100.3	▲ 0.1	105.3	▲ 0.2
8月	99.4	0.6	92.9	5.3	99.1	1.3	92.9	1.1	98.6	▲ 1.7	90.1	▲ 0.9
9月	101.8	2.4	102.9	3.8	101.8	2.7	104.2	5.0	100.6	2.0	104.1	▲ 0.9
10月	102.2	0.4	102.4	6.1	100.9	▲ 0.9	101.4	2.1	100.7	0.1	102.3	▲ 1.4
11月	99.7	▲ 2.4	98.0	9.5	100.0	▲ 0.9	99.1	4.8	99.9	▲ 0.8	100.2	1.6
12月	97.3	▲ 2.4	99.8	0.2	98.8	▲ 1.2	101.4	1.6	98.5	▲ 1.4	101.3	▲ 1.2
平成 28年1月	102.1	4.9	95.2	0.1	103.7	5.0	96.9	▲ 0.7	100.1	1.6	91.9	▲ 4.2
2月	102.1	0.0	100.8	4.9	98.1	▲ 5.4	99.2	3.3	99.2	▲ 0.9	97.3	▲ 0.1
3月	98.9	▲ 3.1	109.1	0.8	98.5	0.4	108.0	1.1	99.7	0.5	111.2	1.1
4月	102.1	3.2	98.5	2.4	101.0	2.5	97.1	0.9	99.3	▲ 0.4	96.0	▲ 1.9
5月	100.0	▲ 2.1	92.7	▲ 0.7	93.9	▲ 7.0	90.1	▲ 6.7	98.5	▲ 0.8	91.6	0.2
6月	99.9	▲ 0.1	102.4	▲ 6.1	96.1	2.3	97.6	▲ 6.0	99.2	0.7	102.8	▲ 1.2
7月	102.3	2.4	106.1	0.2	97.0	0.9	100.2	▲ 3.6	99.8	0.6	101.1	▲ 4.0
8月	102.7	0.4	97.8	5.3	99.6	2.7	95.1	2.4	100.5	0.7	94.2	4.6
9月	100.3	▲ 2.3	103.2	0.3	100.2	0.6	103.2	▲ 1.0	100.7	0.2	105.1	1.0
10月	101.8	1.5	100.4	▲ 2.0	98.8	▲ 1.4	97.8	▲ 3.6	101.0	0.3	101.0	▲ 1.3
11月	101.9	0.1	102.0	4.1	99.4	0.6	99.9	0.8	102.0	1.0	104.3	4.1
12月	105.1	3.1	105.8	6.0	101.0	1.6	102.6	1.2	102.0	0.0	103.4	2.1
平成 29年1月	97.5	▲ 7.2	92.5	▲ 2.8	98.3	▲ 2.7	93.2	▲ 3.8	100.9	▲ 1.1	94.3	2.6
2月	99.1	1.6	99.4	▲ 1.4	101.5	3.3	99.4	0.2	101.6	0.7	100.1	2.9
3月	108.8	9.8	119.0	9.1	102.4	0.9	112.4	4.1	101.5	▲ 0.1	113.1	1.7
4月	103.2	▲ 5.1	100.0	1.5	101.5	▲ 0.9	97.0	▲ 0.1	104.1	2.6	99.8	4.0
5月	101.0	▲ 2.1	95.3	2.8	96.8	▲ 4.6	93.8	4.1	102.3	▲ 1.7	96.5	5.3
6月	103.2	2.2	106.3	3.8	100.6	3.9	102.1	4.6	103.3	1.0	107.1	4.2
7月	101.6	▲ 1.6	105.5	▲ 0.6	101.0	0.4	104.0	3.8	102.5	▲ 0.8	103.7	2.6
8月	103.7	2.1	99.3	1.5	100.8	▲ 0.2	96.4	1.4	104.0	1.5	97.6	3.6
9月	102.9	▲ 0.8	105.9	2.6	99.3	▲ 1.5	101.7	▲ 1.5	103.0	▲ 1.0	106.5	1.3

(平成27年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
平成 29年10月	101.3	▲ 1.6	101.6	1.2	100.2	0.9	100.2	2.5	103.3	0.3	105.0	4.0
11月	105.3	3.9	105.3	3.2	102.4	2.2	103.0	3.1	104.2	0.9	106.6	2.2
12月	103.7	▲ 1.5	104.9	▲ 0.9	102.9	0.5	104.2	1.6	105.8	1.5	106.7	3.2
平成 30年1月	101.2	▲ 2.4	95.7	3.5	101.5	▲ 1.4	96.8	3.9	101.4	▲ 4.2	95.6	1.4
2月	101.9	0.7	99.2	▲ 0.2	102.3	0.8	99.6	0.2	104.0	2.6	101.0	0.9
3月	103.0	1.1	111.3	▲ 6.5	103.8	1.5	113.5	1.0	105.1	1.1	115.9	2.5
4月	103.9	0.9	100.5	0.5	103.2	▲ 0.6	99.5	2.6	104.5	▲ 0.6	101.7	1.9
5月	103.9	0.0	98.5	3.4	104.7	1.5	99.9	6.5	104.8	0.3	99.9	3.5
6月	105.7	1.7	108.3	1.9	105.8	1.1	106.6	4.4	103.7	▲ 1.0	105.5	▲ 1.5
7月	84.0	▲ 20.5	86.3	▲ 18.2	90.9	▲ 14.1	94.4	▲ 9.2	103.8	0.1	106.2	2.4
8月	91.6	9.0	89.0	▲ 10.4	96.9	6.6	94.2	▲ 2.3	103.6	▲ 0.2	98.2	0.6
9月	98.1	7.1	99.6	▲ 5.9	98.4	1.5	98.4	▲ 3.2	103.5	▲ 0.1	103.8	▲ 2.5
10月	101.9	3.9	104.8	3.1	104.9	6.6	106.1	5.9	105.6	2.0	109.4	4.2
11月	103.3	1.4	106.6	1.2	106.5	1.5	109.0	5.8	104.6	▲ 0.9	108.6	1.9
12月	103.5	0.2	103.4	▲ 1.4	104.7	▲ 1.7	105.5	1.2	104.7	0.1	104.6	▲ 2.0
平成 31年1月	102.6	▲ 0.9	94.6	▲ 1.1	103.6	▲ 1.1	98.2	1.4	102.3	▲ 2.3	95.8	0.2
2月	104.1	1.5	99.5	0.3	103.3	▲ 0.3	100.1	0.5	103.3	1.0	100.3	▲ 0.7
3月	104.8	0.7	113.5	2.0	103.1	▲ 0.2	111.0	▲ 2.2	102.8	▲ 0.5	111.1	▲ 4.1
4月	103.3	▲ 1.4	101.2	0.7	105.5	2.3	102.9	3.4	102.7	▲ 0.1	101.0	▲ 0.7
令和 元年5月	103.2	▲ 0.1	94.4	▲ 4.2	104.0	▲ 1.4	97.9	▲ 2.0	104.2	1.5	98.0	▲ 1.9
6月	105.5	2.2	108.1	▲ 0.2	104.4	0.4	104.8	▲ 1.7	101.5	▲ 2.6	101.4	▲ 3.9
7月	101.2	▲ 4.1	105.2	21.9	101.8	▲ 2.5	107.1	13.5	102.2	0.7	107.0	0.8
8月	94.6	▲ 6.5	87.6	▲ 1.6	97.4	▲ 4.3	92.2	▲ 2.1	100.5	▲ 1.7	92.8	▲ 5.5
9月	99.2	4.9	102.5	2.9	103.1	5.9	104.2	5.9	102.4	1.9	105.0	1.2
10月	97.5	▲ 1.7	99.5	▲ 5.1	101.3	▲ 1.7	101.5	▲ 4.3	98.3	▲ 4.0	100.4	▲ 8.2
11月	96.0	▲ 1.5	97.6	▲ 8.4	97.2	▲ 4.0	98.1	▲ 10.0	97.7	▲ 0.6	99.4	▲ 8.5
12月	99.1	3.2	104.5	1.1	100.5	3.4	103.5	▲ 1.9	97.9	0.2	100.7	▲ 3.7
令和 2年1月	103.7	4.6	95.8	1.3	102.1	1.6	96.9	▲ 1.3	99.1	1.2	93.3	▲ 2.6
2月	100.5	▲ 3.1	96.1	▲ 3.4	97.5	▲ 4.5	94.8	▲ 5.3	98.7	▲ 0.4	94.5	▲ 5.8
3月	96.7	▲ 3.8	105.7	▲ 6.9	97.3	▲ 0.2	105.2	▲ 5.2	96.2	▲ 2.5	105.1	▲ 5.4
4月	74.1	▲ 23.4	74.2	▲ 26.7	80.4	▲ 17.4	79.2	▲ 23.0	86.3	▲ 10.3	85.3	▲ 15.5
5月	73.0	▲ 1.5	65.0	▲ 31.1	76.0	▲ 5.5	70.4	▲ 28.1	77.2	▲ 10.5	71.5	▲ 27.0
6月	77.4	6.0	80.5	▲ 25.5	81.6	7.4	84.1	▲ 19.8	81.0	4.9	82.7	▲ 18.4
7月	87.9	13.6	91.3	▲ 13.2	88.3	8.2	92.4	▲ 13.7	86.6	6.9	90.0	▲ 15.9
8月	90.8	3.3	84.1	▲ 4.0	90.3	2.3	84.0	▲ 8.9	88.3	2.0	79.8	▲ 14.0
9月	91.8	1.1	97.2	▲ 5.2	93.8	3.9	97.2	▲ 6.7	91.6	3.7	95.4	▲ 9.1
10月	93.4	1.7	95.0	▲ 4.5	95.3	1.6	97.3	▲ 4.1	93.5	2.1	97.0	▲ 3.4
11月	92.4	▲ 1.1	92.6	▲ 5.1	94.4	▲ 0.9	93.8	▲ 4.4	94.2	0.7	95.3	▲ 4.1
12月	90.7	▲ 1.8	95.5	▲ 8.6	96.2	1.9	100.8	▲ 2.6	94.0	▲ 0.2	97.8	▲ 2.9
令和 3年1月	96.2	6.1	90.4	▲ 5.6	98.3	2.2	92.5	▲ 4.5	95.8	1.9	88.4	▲ 5.3
2月	92.9	▲ 3.4	90.0	▲ 6.3	97.3	▲ 1.0	92.6	▲ 2.3	95.7	▲ 0.1	92.0	▲ 2.6
3月	98.0	5.5	111.2	5.2	98.8	1.5	111.1	5.6	97.3	1.7	108.9	3.6
4月	92.0	▲ 6.1	92.8	25.1	97.1	▲ 1.7	96.8	22.2	98.4	1.1	98.6	15.6
5月	92.8	0.9	81.4	25.2	94.4	▲ 2.8	86.7	23.2	92.3	▲ 6.2	86.5	21.0
6月	93.9	1.2	101.9	26.6	95.8	1.5	99.2	18.0	98.9	7.2	101.6	22.9
7月	90.9	▲ 3.2	93.3	2.2	93.6	▲ 2.3	95.6	3.5	98.1	▲ 0.8	100.0	11.1
8月	90.5	▲ 0.4	79.1	▲ 5.9	92.1	▲ 1.6	85.0	1.2	96.2	▲ 1.9	86.5	8.4
9月	87.7	▲ 3.1	89.8	▲ 7.6	92.2	0.1	94.7	▲ 2.6	89.9	▲ 6.5	93.0	▲ 2.5
10月	87.9	0.2	86.1	▲ 9.4	91.7	▲ 0.5	91.3	▲ 6.2	91.8	2.1	92.8	▲ 4.3
11月	95.1	8.2	97.2	5.0	101.0	10.1	101.6	8.3	96.4	5.0	99.9	4.8
12月	95.0	▲ 0.1	101.2	6.0	96.6	▲ 4.4	101.9	1.1	96.6	0.2	100.0	2.2
令和 4年1月	95.3	0.3	93.2	3.1	98.3	1.8	94.6	2.3	94.3	▲ 2.4	87.7	▲ 0.8
2月	94.8	▲ 0.5	93.0	3.3	99.3	1.0	95.5	3.1	96.2	2.0	92.5	0.5
3月	93.3	▲ 1.6	108.1	▲ 2.8	96.5	▲ 2.8	107.1	▲ 3.6	96.5	0.3	107.1	▲ 1.7
4月	91.5	▲ 1.9	84.9	▲ 8.5	94.0	▲ 2.6	92.4	▲ 4.5	95.1	▲ 1.5	93.8	▲ 4.9

(平成27年平均=100)

年 月	広 島 県				中 国 地 方				全 国			
	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比	季節調整 済指数	前月(期) 比	原指数	前年(同 月期)比
令和 4年5月	96.6	5.6	83.5	2.6	93.0	▲ 1.1	86.7	0.0	88.0	▲ 7.5	83.8	▲ 3.1
6月	96.8	0.2	104.7	2.7	100.6	8.2	104.1	4.9	96.1	9.2	98.8	▲ 2.8
7月	98.2	1.4	98.6	5.7	99.1	▲ 1.5	100.2	4.8	96.9	0.8	98.0	▲ 2.0
8月	101.6	3.5	92.7	17.2	99.3	0.2	92.2	8.5	100.2	3.4	91.5	5.8
9月	103.5	1.9	107.2	19.4	100.8	1.5	103.3	9.1	98.5	▲ 1.7	101.9	9.6
10月	103.2	▲ 0.3	103.0	19.6	100.6	▲ 0.2	99.7	9.2	95.3	▲ 3.2	95.6	3.0
11月	99.2	▲ 3.9	101.0	3.9	99.4	▲ 1.2	99.7	▲ 1.9	95.5	0.2	99.0	▲ 0.9
12月	96.9	▲ 2.3	99.7	▲ 1.5	98.8	▲ 0.6	102.1	0.2	95.8	0.3	97.6	▲ 2.4

出所：中国地方 … 「中国地域鉱工業生産動向」（経済産業省中国経済産業局）

全 国 … 「鉱工業生産・出荷・在庫指数」（経済産業省）